

# RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア  
ルネサス エレクトロニクス株式会社

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/contact/>

E-mail: [csc@renesas.com](mailto:csc@renesas.com)

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-RZ*-A054A/J	Rev.	第1版
題名	RZ/T1グループ ユーザーズマニュアル RSPIステータスレジスタの書き込み値に関する制限事項		情報分類	技術情報	
適用製品	RZ/T1 グループ	対象ロット等	関連資料	RZ/T1 グループユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev1.40 R01UH0483JJ0140 Rev.1.40	
		全ロット			

RSPIa の RSPI ステータスレジスタ (SPSR) の書き込み値に関する使用制限があることが判明致しました。誤った値を書き込みした場合、意図しない送信動作や RSPI データレジスタ (SPDR) の値が不定値となる場合があります。

本内容をご配慮の上、使用頂けますようお願い致します。

## 1. 条件

RSPI 制御レジスタ (SPCR) の SPE ビット = 1 (RSPI 機能は有効) の状態で、SPSR レジスタの予約ビットである b5、b7 に"0"を書いた場合。

## 2. 現象

SPSR レジスタの b5 に"0"を書いた場合、意図しない送信が開始される場合があります。

また SPSR レジスタの b7 に"0"を書いた場合、SPDR レジスタの値が不定値になる場合があります。

## 3. 対策

SPSR レジスタの b5、b7 を書く場合は "1" を書いてください。

また、動作に影響は与えませんが b4、b6 を書く場合は "0" を書いてください。

4. ユーザーズマニュアル訂正内容

以下のように訂正致します。

ページ	内容																																																		
2131	<p><b>【現在の記述】</b></p> <p>36.2.4 RSPI ステータスレジスタ (SPSR)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビット</th> <th>シンボル</th> <th>ビット名</th> <th>機能</th> <th>R/W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>b4</td> <td>—</td> <td>予約ビット</td> <td>読むと"0"が読めます。</td> <td>R</td> </tr> <tr> <td>b5</td> <td>—</td> <td>予約ビット</td> <td>読むと不定値が読めます。</td> <td>R</td> </tr> <tr> <td>b6</td> <td>—</td> <td>予約ビット</td> <td>読むと"0"が読めます。</td> <td>R</td> </tr> <tr> <td>b7</td> <td>—</td> <td>予約ビット</td> <td>読むと不定値が読めます。</td> <td>R</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【訂正後の記述】</b></p> <p>36.2.4 RSPI ステータスレジスタ (SPSR)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビット</th> <th>シンボル</th> <th>ビット名</th> <th>機能</th> <th>R/W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>b4</td> <td>—</td> <td>予約ビット</td> <td>読むと"0"が読めます。<b>書く場合、"0"としてください。</b></td> <td>R/(W)</td> </tr> <tr> <td>b5</td> <td>—</td> <td>予約ビット</td> <td>読むと不定値が読めます。<b>書く場合、"1"としてください。</b></td> <td>R/(W)</td> </tr> <tr> <td>b6</td> <td>—</td> <td>予約ビット</td> <td>読むと"0"が読めます。<b>書く場合、"0"としてください。</b></td> <td>R/(W)</td> </tr> <tr> <td>b7</td> <td>—</td> <td>予約ビット</td> <td>読むと不定値が読めます。<b>書く場合、"1"としてください。</b></td> <td>R/(W)</td> </tr> </tbody> </table>	ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W	b4	—	予約ビット	読むと"0"が読めます。	R	b5	—	予約ビット	読むと不定値が読めます。	R	b6	—	予約ビット	読むと"0"が読めます。	R	b7	—	予約ビット	読むと不定値が読めます。	R	ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W	b4	—	予約ビット	読むと"0"が読めます。 <b>書く場合、"0"としてください。</b>	R/(W)	b5	—	予約ビット	読むと不定値が読めます。 <b>書く場合、"1"としてください。</b>	R/(W)	b6	—	予約ビット	読むと"0"が読めます。 <b>書く場合、"0"としてください。</b>	R/(W)	b7	—	予約ビット	読むと不定値が読めます。 <b>書く場合、"1"としてください。</b>	R/(W)
ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W																																															
b4	—	予約ビット	読むと"0"が読めます。	R																																															
b5	—	予約ビット	読むと不定値が読めます。	R																																															
b6	—	予約ビット	読むと"0"が読めます。	R																																															
b7	—	予約ビット	読むと不定値が読めます。	R																																															
ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W																																															
b4	—	予約ビット	読むと"0"が読めます。 <b>書く場合、"0"としてください。</b>	R/(W)																																															
b5	—	予約ビット	読むと不定値が読めます。 <b>書く場合、"1"としてください。</b>	R/(W)																																															
b6	—	予約ビット	読むと"0"が読めます。 <b>書く場合、"0"としてください。</b>	R/(W)																																															
b7	—	予約ビット	読むと不定値が読めます。 <b>書く場合、"1"としてください。</b>	R/(W)																																															

以上